

報告第7号

平成28年度めむろ新嵐山株式会社の経営状況について報告の件  
地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成28年度めむろ新嵐山株式  
会社の経営状況について報告するものであります。

平成29年6月23日提出

芽室町長 宮 西 義 憲

## 平成28年度めむろ新嵐山株式会社の経営状況について

### 1 第16期営業報告書

- (1) 第16期事業報告書
- (2) 貸借対照表
- (3) 損益計算書
- (4) 販売費及び一般管理費内訳書
- (5) 株主資本等変動計算書
- (6) 監査報告書
- (7) 第17期事業計画書
- (8) 第17期予算書

### 2 経営分析

- (1) 月別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移
- (2) 年別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移
- (3) 営業分析

# 第 16 期 営 業 報 告 書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

河西郡芽室町中美生 2 線 4 2 番地

めむろ新嵐山株式会社

## 第 16 期 事 業 報 告 書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

当社は、芽室町最大の観光施設であり、町民の健全なレクリエーションを推進するために設けられた「新嵐山スカイパーク」の一角を管理・運営するため、芽室町100%出資により平成14年3月6日に設立され、同年4月1日より事業を開始し、実質的には今期が15年目となっております。

宿舎部門におきまして、宿泊収入は6月低温により旅行客減を受けましたが、第二四半期以降インターネット販売先行管理により、個人客の増加、サッカー大会、ゲートボール大会、クラス会など9月からは台風復旧工事関係者の連泊宿泊もあり、順調な売上伸長となり、対前年1,468名増、7,500千円の増収で終了しました。なお、レストラン、日帰り宴会はメニュー変更、営業戦略変更などと合わせ、台風被害による予約キャンセルやパークゴルフ場25日間休止後に18ホールで再開するも客足減少が響き、レストラン、宴会、バーベキューを合わせた料飲全体においては5,842千円減少となりました。なお、7月より戦略変換を行い、回復基調を目標に営業展開してまいりましたが残念な結果での終了となりました。

この結果、宿舎部門全体では92,052千円、対前年1,007千円の増収となりました。また、冬期スキーシーズンは降雪にも恵まれ、リフト乗降客数も47万人(対前年61千人増)を超えるまでに復活し、対前年3,743千円増収となり、キャンプ場、牧場管理、指定管理費を含む全社売上は197,972千円(対前年4,360千円増)確保されました。

収支につきましては、売上伸長にあわせて台風被害に伴うパークゴルフ場の一時閉鎖及びコース縮小による維持費減額、圧雪車リース料費用負担変更により大きく減少となり、固定費各種経費合計では2,219千円の減額により営業利益1,353千円の確保、営業外収益は障がい者受け入れ人材配置事業補助金4,071千円を含む6,061千円を加算し、税引前当期純利益6,722千円(対前年12,584千円増)の計上となりました。

芽室町民、新あらし山友の会をはじめ、ご利用頂きました大勢の皆さまに心から感謝申し上げます。



## 損益計算書

平成28年 4月 1日から

平成29年 3月31日まで

商号 めむろ新嵐山 株式会社

(単位：円)

科 目			金 額		
I	売 上 高	売 上 高	197,972,251	197,972,251	197,972,251
II	売 上 原 価	期 首 上 原 卸 価	26,537,438	1,066,907	
	仕 入 高	仕 入 高	1,728,758		
	仕 入 高	仕 入 高	2,885,929		
	仕 入 高	仕 入 高	488,621	31,640,746	
	仕 入 高	仕 入 高		32,707,653	
	仕 入 高	仕 入 高		1,083,114	31,624,539
	仕 入 高	仕 入 高			166,347,712
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		164,994,261	164,994,261
IV	営 業 外 収 益	営 業 外 収 益		27,289	
	営 業 外 収 益	営 業 外 収 益		6,034,361	6,061,650
V	営 業 外 費 用	営 業 外 費 用		0	0
VI	経 常 利 益	経 常 利 益			7,415,101
VII	特 別 利 益	特 別 利 益		0	0
VIII	特 別 損 失	特 別 損 失		693,000	693,000
	税 引 前 当 期 純 利 益	税 引 前 当 期 純 利 益		655,774	6,722,101
	法 人 税 及 び 住 民 税 等	法 人 税 及 び 住 民 税 等		-305,909	349,865
	当 期 純 利 益	当 期 純 利 益			6,372,236

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成28年 4月 1日から  
平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
給料手当	89,135,975
職員教育費	16,933
販売員旅費	213,061
広告宣伝費	2,053,881
発送配達費	3,974
販売促進費	554,764
支払手数料	2,488,414
新聞図書費	91,878
役員報酬	360,000
従業員賞与	3,586,511
従業員福利費	11,073,477
厚生費	566,297
被服費	207,796
減価償却費	244,760
リース料	807,619
修繕費	1,927,096
事務用品費	817,515
通信費	1,033,322
水道光熱費	24,148,098
租税公課	396,900
接待交際費	150,259
備品消耗品費	1,451,598
諸品消耗品費	5,408,550
車庫維持費	576,449
施設維持費	5,119,273
施り費	9,030,636
雑費	1,995,476
雑費	1,533,749
合 計	164,994,261

たな卸資産の計算内訳

平成29年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	1,083,114
合 計	1,083,114

## 株主資本等変動計算書

平成28年 4月 1日から  
平成29年 3月 31日まで

めむろ新嵐山 株式会社

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金		
当期首残高		30,000,000
当期変動額		0
当期末残高		30,000,000
2. 利 益 剰 余 金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高		2,796,974
当期変動額		
当期純利益		6,372,236
当期末残高		9,169,210
その他利益剰余金合計		
当期首残高		2,796,974
当期変動額		
当期純利益		6,372,236
当期末残高		9,169,210
株 主 資 本 合 計		
当期首残高		32,796,974
当期変動額		
当期純利益		6,372,236
当期末残高		39,169,210
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0
III 新 株 予 約 権		
当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0
純資産の部合計		
当期首残高		32,796,974
当期変動額		
当期純利益		6,372,236
当期末残高		39,169,210



以上のとおり御報告申し上げます。

平成29年6月2日

めむろ新嵐山 株式会社

代表取締役 宮 西 義 憲

取 締 役 齊 藤 明 彦

取 締 役 佐 藤 三 舟

取 締 役 安 田 敦 史

取 締 役 相 馬 光 明

# 監査報告書

私たち監査役は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第16期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその付属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しくしているものと認めます。
- 二 取締役の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成29年6月2日

めむろ新嵐山株式会社

監査役 武田 清 壽



監査役 二瓶 浩 之



## 第17期事業計画書

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

第16期の事業報告をふまえ、第17期事業計画を申し上げます。

平均株価上昇により日本経済は上昇の一端を示しつつも業種間の格差拡大も見られ、ホテル業界におきましては、インバウンド増加を受け、稼働率も上昇し、地方都市にも徐々にその恩恵を受けるまでになりました。一方では爆買いに不服感があり、業種によりましては、景気下落に危機感を余儀なくされています。

北海道経済は、北海道新幹線開業に伴う道南地区の入込増加により、経済界に一層の期待感が増幅する中、十勝地区におきましては、昨年春期の低温による農業被害や交流人口の減少により、経済はマイナス思考となり、8月末の台風では想定を超える洪水被害を受け、国道及び道道の寸断、収穫時期を迎えつつあった農業は作物及び農地の流出、河川緑地の浸水による各種スポーツ施設、公園施設の流出など十勝経済に甚大な被害を受けました。

新嵐山スカイパークゾーンもキャンプ場、野草園など大きな被害を受け、修復の途上であります。なお、パークゴルフ場も大きな被害を受けつつもコース変更のうえ4コース(36ホール)確保の計画であります。

このことから、第17期は春の野草鑑賞客や散策者の減少により、経営環境の厳しい中での新年度スタートを想定せざるを得ません。

昨年改定しましたレストランメニューに更なる改善を加え、新メニュー開発など魅力ある「食」を展開し、レストランへの誘客、宴会を含む料飲部門の更なる集客強化を図ってまいります。

また、宴会部門及びバーベキュー部門の団体客取り込みは、より一層の芽室町民密着型の営業を行うことを基本とし、町内会、地域婦人部、農業団体、地域敬老会などへの早期営業を実施し、送迎車両運行管理により、少人数から大人数まできめ細かな対応を行ってまいります。

宿泊部門につきましては、ネット商品造成の拡大、早期販売告知を行い、じゃらんネット、楽天などインターネット集客増を図ります。

スキー場部門は、シーズン券早割販売、シーズン券ふるさと納税返礼品への上程など積極的に実施するとともに十勝管内小中高校へのスキー学習利用促進など、引き続き営業を強化します。

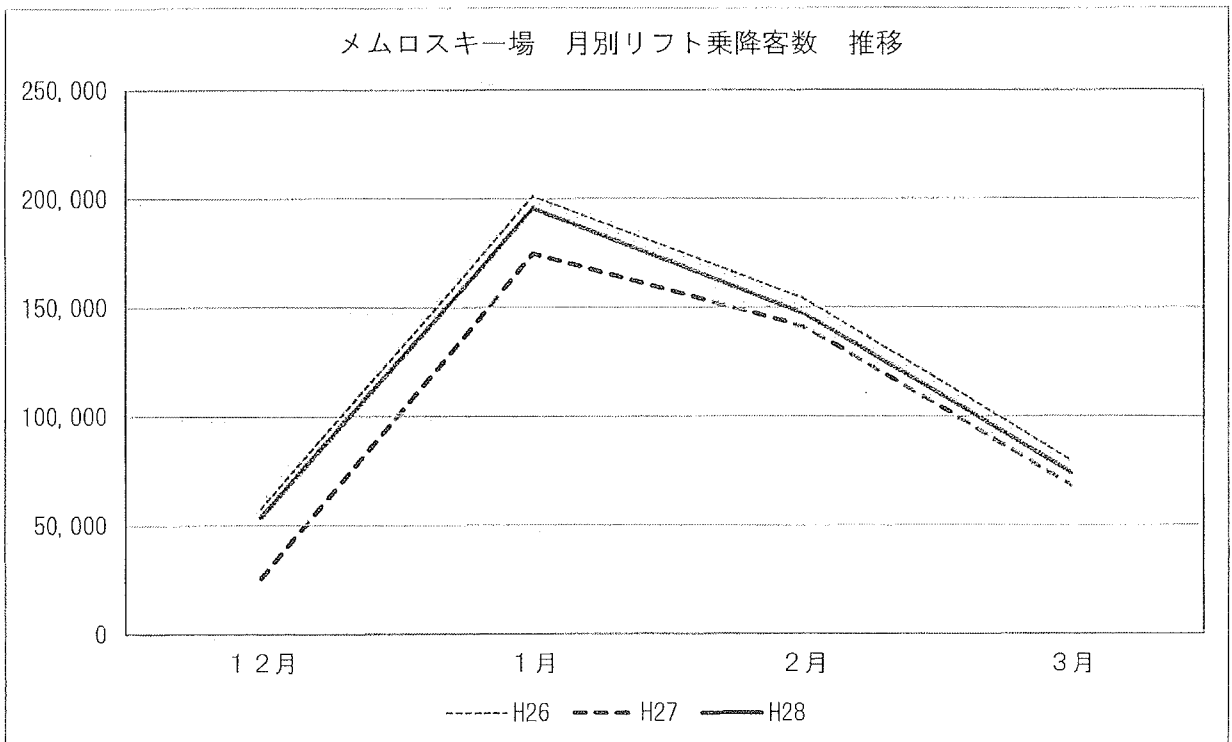
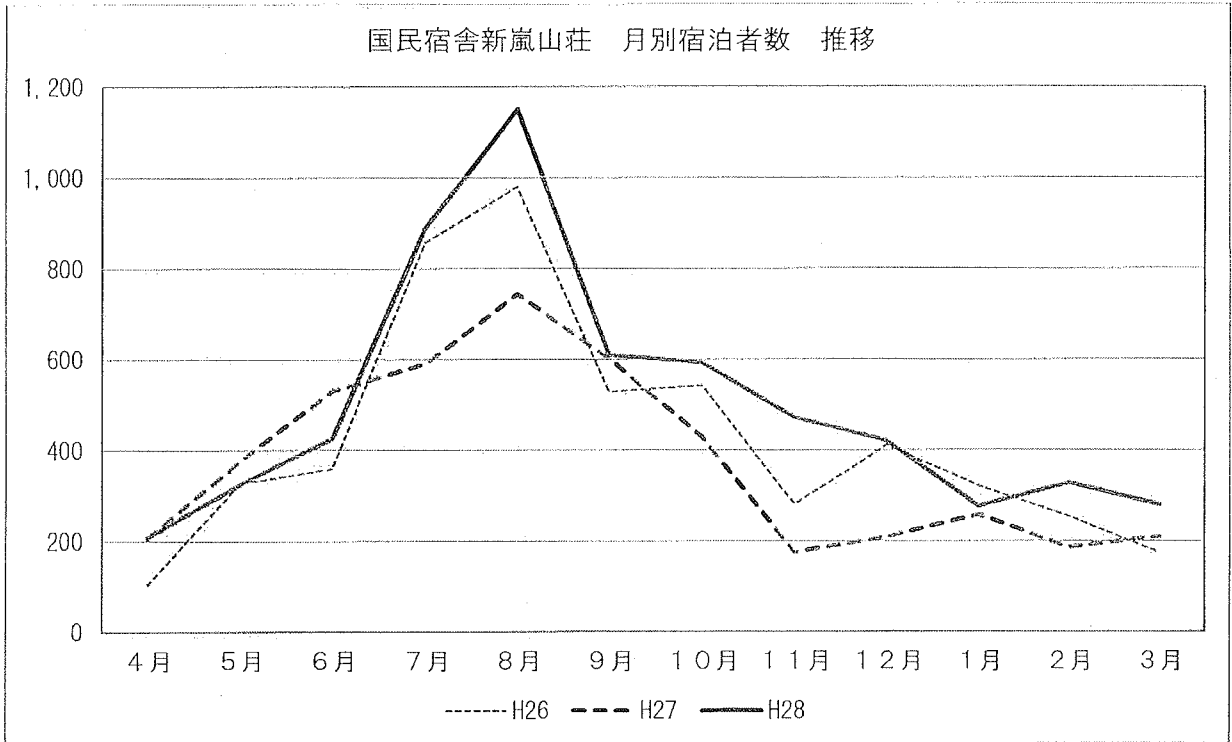
今期は全職員が「芽室町民目線」での商品造成、料理、サービスに徹し、より一層町民に愛され必要とされる意識で取り組んでまいります。引き続き、皆様方の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 損益計算書(第17期計画)

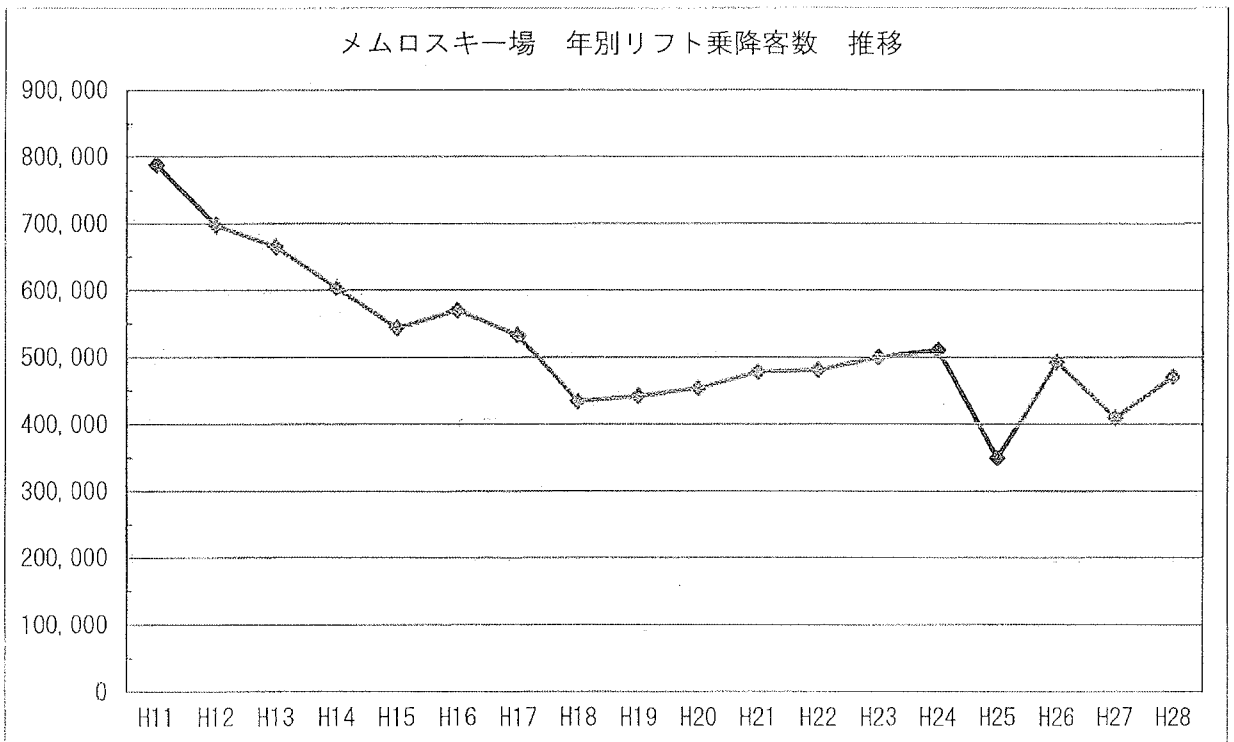
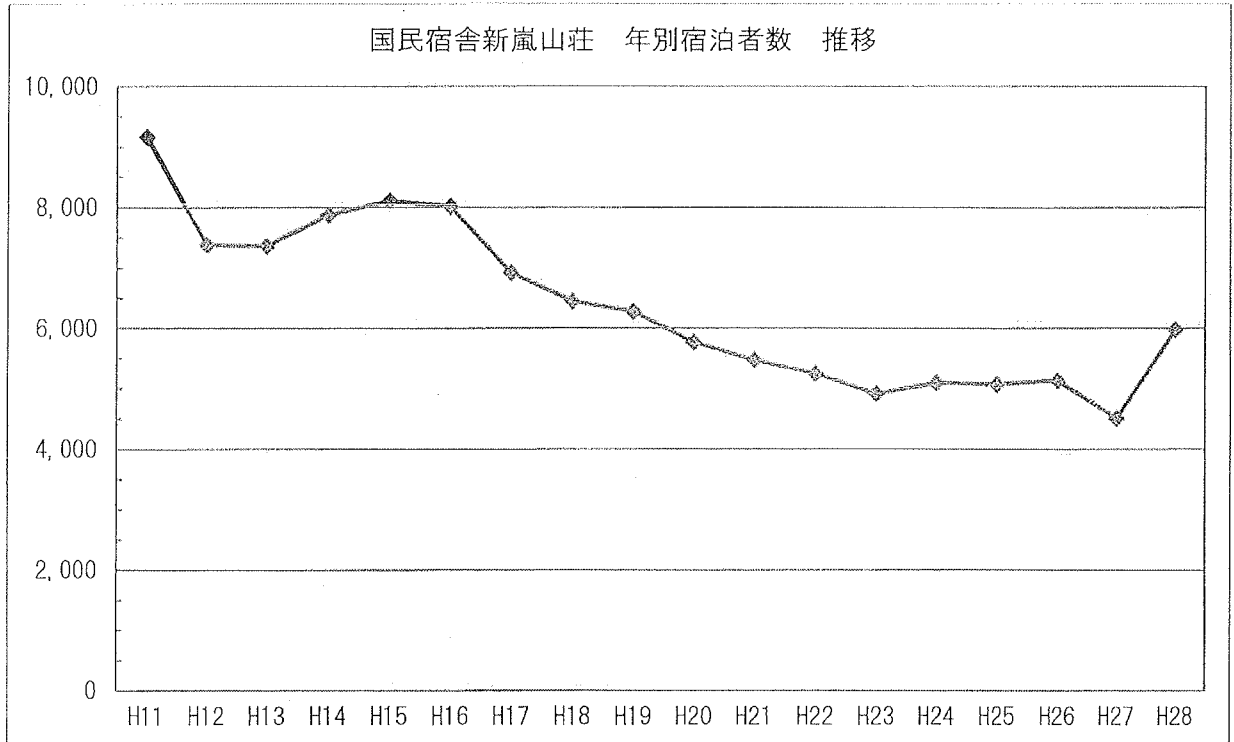
単位:千円

区 分	第13期 (25年度)	第14期 (26年度)	第15期 (27年度)	第16期 (28年度)	第17期 (29年度)	備考
売上高	190,394	207,956	193,612	197,972	199,719	
宿舎部門収入 (宿泊者数)	94,968 (5,081)	100,964 (5,145)	91,045 (4,515)	92,053 (5,983)	94,814 (6,165)	
スキー場部門収入 (リフト利用者数:人)	38,495 (348,720)	47,864 (493,006)	39,925 (409,594)	43,669 (471,158)	44,684 (485,292)	
キャンプ場・公園部門収入	2,589	2,494	2,769	2,351	0	
キャンプ場収入	2,589	2,494	2,769	2,351	0	
公園管理収入	0	0	0	0	0	
指定管理委託料	37,530	38,585	41,519	41,519	41,519	町からの委託料
牧場管理部門収入	16,812	18,049	18,354	18,380	18,702	町からの委託料
売上原価	35,897	37,339	33,961	31,625	31,625	
宿舎原価	35,897	37,339	33,961	31,625	31,625	原材料
販売費及び一般管理費	156,529	167,822	167,096	164,994	167,182	
宿舎部門	81,650	90,208	90,803	86,964	88,628	
人件費	53,772	59,328	62,702	59,820	60,920	
各種経費	27,878	30,880	28,101	27,144	27,708	
スキー場部門	39,880	41,731	28,103	42,944	42,807	
人件費	17,085	18,421	11,417	20,257	20,257	
各種経費	22,795	23,310	16,686	22,687	22,550	
キャンプ場・公園部門	19,237	20,307	18,391	17,953	18,853	
人件費	8,821	9,095	9,071	8,876	8,876	
各種経費	10,416	11,212	9,320	9,077	9,977	
牧場管理部門	14,775	14,686	17,038	15,575	15,575	
人件費	14,641	14,278	16,980	15,410	15,410	
各種経費	134	408	58	165	165	
共通部門	987	890	12,761	1,558	1,319	
役員報酬等	720	736	12,502	1,313	1,074	
減価償却費	267	154	259	245	245	
営業利益	△ 2,032	2,795	△ 7,445	1,353	912	
宿舎部門	△ 22,579	△ 26,583	△ 33,719	△ 26,536	△ 25,439	
スキー場部門	△ 1,385	6,133	11,822	725	1,877	
キャンプ場・公園部門	△ 16,648	△ 17,813	△ 15,622	△ 15,602	△ 18,853	
牧場管理部門	2,037	3,363	1,316	2,805	3,127	
共通部門	36,543	37,695	28,758	39,961	40,200	
営業外収益	1,802	1,924	1,583	6,062	6,062	
宿舎部門	1,090	960	525	911	911	切手販売手数料ほか
スキー場部門	677	931	794	913	913	テナント家賃ほか
キャンプ場・公園部門	6	0	0	6	6	散策道休憩所電気料
共通部門	29	33	264	4,232	4,232	受取利息・障害者雇用助成金
雑損失	0	0	0	0	0	
経常利益	△ 230	4,719	△ 5,862	7,415	6,974	
特別損失	0	920	0	693	0	
法人税等	180	645	180	350	0	
当期利益	△ 410	3,154	△ 6,042	6,372	6,974	

(1) 月別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移



(2) 年別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移



(3) 営業分析

第16期（平成28年度）めむろ新嵐山株式会社 営業分析

1. 宿泊

営業日数	359日
宿泊売上高	38,193,687円
宿泊者数	5,968人
平均宿泊者数 (人/日)	16.6人
平均単価 (円/日)	6,400円
定員稼働率 (61名)	27.3%

2. スキー場

営業日数	93日		
スキー場売上高	43,669,114円		
乗降者数	471,158人	D	410,380人
		N	60,778人
平均乗降者数 (人/日)	5,066.2人		
平均単価 (円/日)	469,560円		

3. 利用者の地域別割合

	芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外 (国外含む)	合計
宿泊	931人 15.6%	724人 12.1%	2,391人 40.1%	1,922人 32.2%	5,968人 100.0%
宴会	4,091人 47.2%	2,746人 31.7%	103人 1.2%	1,726人 19.9%	8,666人 100.0%
キャンプ場	70人 3.3%	446人 21.0%	1,110人 52.3%	498人 23.4%	2,124人 100.0%

4. 部門別営業収支

	宿舎	スキー場	公園 キャンプ場	牧場	共通	合計
売上高	92,052,273	43,669,114	2,351,420	18,379,999	41,519,445	197,972,251
売上原価	31,624,539	0	0	0	0	31,624,539
売上総利益	60,427,734	43,669,114	2,351,420	18,379,999	41,519,445	166,347,712
販売費及び 一般管理費	86,964,417	42,943,608	17,952,746	15,574,943	1,558,547	164,994,261
営業利益	▲ 26,536,683	725,506	▲ 15,601,326	2,805,056	39,960,898	1,353,451
営業外収益	911,061	913,074	5,556	0	4,231,959	6,061,650
特別損失	1,042,865	0	0	0	0	1,042,865
経常利益	▲ 26,668,487	1,638,580	▲ 15,595,770	2,805,056	44,192,857	6,372,236